

北翔大学北方圏学術情報センター 年表 (平成29年度)

平成29年 4月	<p>センター長に小室晴陽（教育文化学部教授）就任 副センター長に富田玲子（教育文化学部教授）就任 運営委員会 運営委員長 小室晴陽（センター長兼務） 副委員長 富田玲子（副センター長兼務） 運営委員 水野信太郎（生涯スポーツ学部教授、）黒澤直子（生涯スポーツ学部教授）、山崎正明（教育文化学部教授）、丸岡里香（教育文化学部教授）、林亨（教育文化学部教授）、村松幹男（教育文化学部教授）、千里政文（教育文化学部教授）、飯田昭人（教育文化学部准教授）、菊地達夫（短期大学部こども学科教授）、中村慶伸（北方圏学術情報センター事務担当課長）</p>
平成29年 4月～ 平成30年 3月	<p>平成29年度北翔大学北方圏学術情報センター〈ポルト〉連続市民講座 講座1 見学会：ポルトを起点とした札幌の建築物と地形を歩く見学会 日時：9月16日（土） 10：00～13：00 場所：ポルトアトリウム 概要：「多世代共創社会の実現にむけて自分たちの故郷を見つめ直す心楽しい試み ポルトを起点とした札幌市街地の歴史的建築物をめぐる見学会」と題して実施した。ポルト1階の正面玄関スペースにおいて開催されていた関連展覧会「江別の煉瓦サイロ、岩手・愛知の文学者ゆかりの建築物たち」を見た後に、ポルトを出発した。そして円山一帯の地形を訪ね歩いた。河川などの自然を訪ねると共に、札幌軟石の建築物については札幌建築鑑賞会の代表である杉浦正人氏が案内した。さらに煉瓦造の事例に関しては、N43赤煉瓦塾の事務局長・石垣秀人氏が解説を担当した。</p> <p>講座2 対話による鑑賞ワークショップ 日時：9月17日（日） 14：00～15：30 場所：ギャラリーA 概要：研究員制作研究の成果報告と鑑賞者との交流を通して、美術と社会の連動の有効性を探ること。また、鑑賞ワークショップを開催し、表現者と鑑賞者そしてそれを媒介するものの関係性を実践的に検証することを目的に開催した。</p> <p>講座3 子どもの支援に向けた医療と教育の連携 日時：9月23日（土） 10：00～15：00 場所：ポルト5階会議室A 概要：子どもの支援に必要な連携について、医療現場と教育現場の連携の現状と課題について3人の講師にご講演いただいた。1人目は講師に発達障害を専門とする氏家記念こどもクリニックの医師荒木章子氏であり、発達障がい治療としてくすりの使用の現状と医療が支える子どもの発達についてお話しいただいた。2人目は、小児看護専門看護師として札幌北楡病院にて小児がんの看護を専門とする吉本康子氏にがん治療を受ける子どもの病院での生活や治療後の現状についてお話しいただいた。3人目は小児がんの看護臨床経験から復学支援について研究している畑江郁子氏にがんの子どもの復学に対する支援についてお話しいただいた。今後慢性疾患を抱えた子どもの復学は増える現状にあることに対応する「連携」の必要性が示されたセミナーとなった。</p> <p>講座4 ユニバーサル・ファッションショー 日時：10月22日（日） 14：30～16：20 場所：ポルトホール 概要：ファッションにおける実践的取り組みとして、世代間交流事業をとおした子どもからお年寄り、障がいのあるすべての人たちを対象にカジュアルからフォーマルまで、デザイン性、機能性を考慮した作品35点をショー形式で発表し、その成果を報告した。</p> <p>講座5 札幌・江別両市と岩手・愛知両県の歴史性を活かしたまちづくり 日時：12月10日（日） 13：00～17：00 場所：ポルトギャラリーB 概要：講座では、菊地氏の「地理学研究の軌跡（自身の研究史）」、杉浦氏の「札幌の街をまもりつづけてー札幌建築鑑賞会四半世紀のあゆみからー」、石垣氏の「N43赤煉瓦塾20年」、水野氏の「道外に残る各地の建築物たち文学者の足跡を訪ねて」という4本の報告がなされた。その後、フロアーの方を交えての意見交換を行った。</p>

<p>平成29年 4月～ 平成30年 3月</p>	<p>講座 6 パネル展示：認知症当事者および家族への支援に関する研究 日時：1月16日（火）～21日（日） 場所：ポルトギャラリー A 概要：認知症を抱える当事者や家族が疾病をかかえながらも「いかにその方らしい生活を実現するか」を考える機会とするため、本研究グループが2016年度から実施している、ケアラズカフェ・地域食堂および市民講座での成果を報告した。</p> <p>講座 7 多世代共創社会の実現のために ～子ども支援における支援者のあり方を考える～ 日時：1月21日（日） 13：00～16：30 場所：ポルトホール 概要：子どもの貧困問題、不登校、その他子どもの生きづらさの問題を考える際に大切な視点は、大人である私たちのありようではないでしょうか。多世代共創社会を目指すことは、子どもの生きづらさの問題を考えることにつながります。今回は、2部形式とし、第1部は不登校や貧困を経験した10～20代の若者5名によるトークセッションを行った。第2部は精神科医の田中康雄先生をお招きし、子ども支援における支援者のあり方について語っていただいた。</p> <p>講座 8 子どもの生きづらさへの大人の支援とは 日時：1月27日（土） 12：50～16：25 場所：ポルト5階会議室 A 概要：近年子どもの社会への適応に困難を感じる課題について2名の講師にご講演いただいた。 1人目は「発達障がい」の思春期の子どもの「混乱と困難」についてときわ子ども発達センター長館農勝氏にお話しいただいた。 2人目は日本の子どもの自尊感情を高める必要性について教育の立場から北海道大学大学院教育学研究院発達心理研究室の加藤弘通氏にお話しいただいた。大変ニーズの高いテーマであり、参加者が100名を超えるセミナーとなり、それぞれの参加者の実践に役立つことが期待されるセミナーであった。</p> <p>講座 9 北海道における産学官連携による人材育成の可能性 日時：2月24日（土） 13：30～15：30 場所：ポルト5階会議室 A 概要：現代、産学公民連携による社会的課題解決への取り組みの重要性が再確認されている。特に、個々のライフステージに適したキャリア形成支援のあり方が課題となっている。本講座は、産学公民連携による多方面の社会的課題に対応し、今後の継続的な支援体制の維持・発展について検討する機会として、基幹プロジェクトの位置付けとしてシンポジウムを開催した。</p> <p>講座10 シンポジウム：多世代の人々が共創して地域づくりを行う社会の実現について 日時：3月24日（土） 14：30～17：00 場所：ポルト5階会議室 A 概要：このシンポジウムでは、“多世代の人々が共創して地域づくりを行う社会の実現に向けて”を共通テーマとして実施してきたポルト市民講座の取組み事例を報告し、異分野連携によるポルト研究の今後のあり方について討議された。体験的知識習得型のワークショップ講座、ポルト研究活動の統一的な広報展開、研究プロジェクト参加教員の専門性の相互理解、サロン化への課題など、活発な意見交換がなされた。</p>
<p>平成29年 4月～ 平成30年 3月</p>	<p>平成29年度北翔大学北方圏学術情報センター（ポルト）成果発表および関連行事 企画1：第11回さっぽろ高校生演劇合同ワークショップ 日時：4月～6月に掛けて22回 企画2：Com.fes 2017「超高齢化時代の街づくりを考える催し」（医師や介護専門員らでつくるリフレ・タウンプロジェクト、生活環境グループ、舞台芸術グループ） 日時：7月23日（日） 企画3：7月研究成果報告会（生活環境グループ） 日時：7月28日（金） 17：00～20：00</p>

<p>平成29年4月～ 平成30年3月</p>	<p>企画4：第四回 いっしょにね！文化祭 ～障害のあるひと ないひと いっしょに楽しむ発表会～ (いっしょにね！文化祭実行委員会, 生活環境グループ, 舞台芸術グループ) 日時：10月7日(土)</p> <p>企画5：12月研究成果報告会(生活環境グループ) 日時：12月1日(金) 17:00～20:00</p> <p>企画6：札幌北斗康応 春季全国高等学校演劇研究大会(フェスティバル2018) 壮行公演 「キリン・Gペン・スケッチブック」 日時 2月20日(火)</p> <p>企画7：成果報告作品展「山是山水是水」 日時：3月5日(月)～25日(日)</p> <p>企画8：北海道札幌新川高校ダンス部公演「ONEs #世界は一人の複数形でできている」 日時：3月21日(水)</p> <p>企画9：鑑賞ワークショップ 日時：3月25日(日)</p>
-----------------------------	---

平成30年度 北方圏学術情報センター グループ別研究員一覧

運営委員 ◎小室晴陽・○富田玲子・飯田昭人・菊地達夫・黒澤直子・千里政文・林亨・村松幹男・山崎正明・佐藤仁 ※太字は新規参加者

No.	区分	研究グループ 略称	研究員所属				計	ポルト
			大 学	短期大学部	学 外 研 究 員	研 究 協 力 員		
1	継続	プロジェクトA 多様な人々が 共創して地域 づくりを行う ための異分野 連携	飯田 昭人 富田 玲子 小室 晴陽 林 亨 大信田静子 村松 幹男 今井 敏勝 水野信太郎 石塚 誠之	菊地 達夫 田口 智子 平井 伸之			12	402
2	継続	舞 台 芸 術	◎村松 幹男 森井 綾 森 一生	田 光子 平井 伸之	大林のり子 金田一仁志 野田頭 希		8	401 手前
3	継続	美 術	◎林 亨 山崎 正明 小室 晴陽		末次 弘明 手塚 昌広 大井 敏恭 館内 徹 塚崎 美歩 岩崎 愛彦 佐藤 一明		10	401中
4	継続	プロジェクトB 健 康	◎飯田 昭人 畑江 郁子 沖田 孝一 澤 聡一 丸岡 里香 佐々木浩子 佐藤 朱美 杉岡 品子		森田 憲輝 伊織 光恵 高田 真吾	野口 直美 川崎 直樹 斉藤 美香	14	601
5	継続	生 活 環 境	◎千里 政文 佐藤 克之 富田 玲子 浅井 貴也 大信田静子		齊藤 徹 後藤 英樹 高岡 朋子 山田もと子 石切山祥子 牧野 准子 佐藤 剛 小河 佳子 村中 敬維 山瀬 甲人 田 恩 蕨	笹浪 雄太 神田 英範 松浦 秀則 永野 晴基	20	401奥+ 403 (ユニバー サルデザ イン)
6	継続	福 祉	◎黒澤 直子 梶 晴美 佐々木浩子 本間 美幸 吉田 修大 八巻 貴穂 尾形 良子 佐藤 郁子 岩本 希				9	601
小 計			37	5	24	7	73	
1		生活福祉研究部	佐々木浩子 入江 智也 梶 晴美 佐藤 至英 林 亨 大宮 司信 風間 雅江	菊地 達夫 松田 久美	木下 泰男 齊藤 徹 加藤 満 澤野 尚子 岡野 五郎 菅藤 美穂		15	602
2		生涯学習研究部	小室 晴陽 澤田 悦子 鈴木しおり 伏見千悦子 竹田 唯史 松澤 衛 山谷敬三郎 西出 勉 林 亨 小杉 直美 佐々木浩子 石塚 誠之 水野信太郎 横山 光 山本 敬三	菊地 達夫 田口 智子 松田 久美	佐々木茂喜 菅原 克弘 藤原 等 島津 彰 萬崎由美子 佐藤 満雄 村井 俊博 亀山 比佐 白川 和希 能勢 保幸 遠藤知恵子 辻 智子 那賀島彰一 矢崎 秀人 佐藤 貴虎 谷川 松芳 藤川 和信 西村 弘行 神田 英治 関本 勝幸		37	602
小 計			22	5	26	0	53	
合 計			59	10	50	7	126	

平成30年 6月26日現在